

05

May . 2017  
予算特別号

『新時代の幕開けに向けた  
スタートダッシュ』

桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」  
第1年次

# 町の事業と予算

平成 29 年度 当初予算等概要版



相馬福島道路「桑折高架橋」の下部工工事が進み、地域活性化への期待が膨らむ。

平成 29 年 5 月

 **桑折町**



# 「こおり新時代」の 幕開けに向けた スタートダッシュ、 攻めの1年に

新年度にあたって

桑折町長 高橋 宣博

本町では、昨年12月に桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」を策定し、町の未来像を「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち桑折」と描き、基本方針に「魅力的で活力ある地域社会の創生」など4本の柱を据えて、その実現のため全力で各種施策を展開することにいたしました。

とりわけ、本計画においては、4つの重点プロジェクトを基幹事業と位置付け、地域経済の活性化や若者の定住化等を図るとともに、魅力ある地域として、本町の知名度が広く浸透していくことを目指してまいります。

はじめに、1つ目の重点、「献上桃の郷展開プロジェクト」については、町内産桃の商品価値を高められるような取組みを推進するとともに、農業振興を目的とした組織の充実と事業活動の拠点整備等に取り組んでまいります。

今年度につきましては、「献上桃の郷」ロゴマークデザインの制作をはじめ、現在、大きな反響を呼んでいる「献上桃ソルベ」など6次化商品の開発支援や販売促進のほか、旧伊達崎幼稚園の園舎を活用して「農業振興活動拠点整備事業」を推進するなど、町のイメージアップ、交流人口の拡大につながるよう、各種施策の展開に努めてまいります。

こうした中、4月16日には、「献上桃の郷BBQフェス2017」が実施され、県外からも多くの人々が来場し、「献上桃」の産地としてはもとより、景観も優れた本町の魅力を、全国に発信できたものと考えております。

次に、2つ目の重点、「21世紀の追分推進プロジェクト」については、「相馬福島道路」の建設現場において、日々、飛躍的に工事が進展しており、今年度早々には東北道とのジャンクション工事が始まると伺っておりますので、町民の皆さんはそれぞれに、未来の町を想像し希望を膨らましていることと思います。



町といたしましては、今後とも、国に対する早期供用開始の要請はもとより、既存企業に新たな投資を促し、(仮称)国道4号インターチェンジ周辺への企業誘致を図るなど、雇用の創出や移住・定住の促進に向け、「21世紀の追分」と呼ぶにふさわしい拠点整備に取り組んでいく考えであります。



次に、3つ目の重点、「歴史まちづくり推進プロジェクト」については、「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、今年度も桑折西山城跡整備を中心とした事業を進めておりますが、町が制作に取り組んできました、「歴史散策リーフレット」と「歴史観光PR映像」が先般完成いたしました。

「歴史散策リーフレット」については、本町出身の漫画家 宮本明彦さんのイラストを用いて、桑折町の歴史を紹介している内容となっております。また、「歴史観光PR映像」については、町の歴史文化財、観光スポット等を映像解説でわかりやすく紹介した内容となっております。どちらも、町の公式ホームページよりご覧いただけます。

次に、4つ目の重点、「町民のための庁舎整備プロジェクト」については、外部有識者や町内各団体代表者で構成する「新庁舎建設検討委員会」からのご意見をいただき、3月末に「新庁舎建設基本構想」を策定しました。

新庁舎の場所については、検討委員会から提出された意見書を尊重し、平成32年度までの期限付きで創設された「市町村役場機能緊急保全事業」を活用するため、利便性が高く、造成の容易な旧醸芳中学校跡地(やすらぎ園隣)を庁舎建設用地といたしました。

そこで、今年度から、総務課内に新庁舎整備室を設置し、町民アンケートやパブリックコメントの実施など、町民の声を聴いて「新庁舎建設基本計画」を策定し、外観やスペース、配置などの基本設計業務に取り組み、期限内での庁舎完成を実現してまいります。

新しい総合計画の目標年次は、4年後の平成33年度であります。本町の描く未来像の実現に向けて、重点プロジェクトをはじめ各種施策の展開が、目に見える形で進展していくためには、行政だけでなく、町民参加のもと、町内会や各種団体、事業所など、それぞれの役割を十分に発揮し、連携して取り組んでいくことが、大変重要であります。

町といたしましても、地域の多様な主体による活動の活性化が図られ、町民一人一人が地域づくりに積極的に取り組んでいただけるよう、活動をしっかりと支援し、緊密な連携を図っていく考えであります。

結びに、新しい総合計画の初年度となる平成29年度は、我が桑折町にとって夢と活力に満ちた「こおり新時代」の幕開けに向けたスタートダッシュの、そして「攻めの一年」となります。

私は、町民の皆さんと共に、職員一丸となって総合計画の着実な推進を図り、全力で町政執行にあたってまいりますので、引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 平成 29 年度 予算

桑折町一般会計当初予算は…

## 51 億 9,723 万円

(うち原発事故災害対応分)  
5 億 6,403 万円)

桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」の初年度となることから、実施計画策定と併せ、未来像実現のための方針に基づく事業展開に努め、重点プロジェクトに位置付けられた各事業を勘案し、総合計画の着実な推進を図ることを重点においた平成29年度当初予算を編成しました。

### ●一般会計当初予算

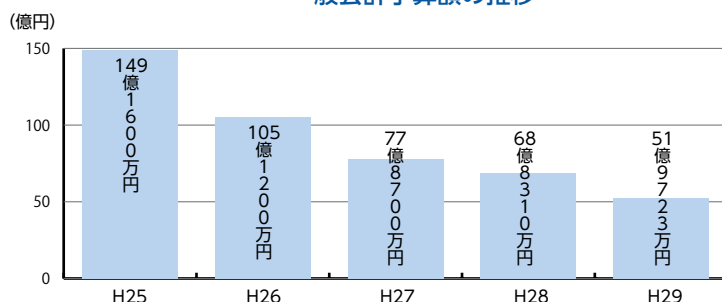
平成29年度の当初予算は、重点プロジェクトの取組として、文化財保護整備費に2億9,315万円を計上し、予算総額は51億9,723万円となりました。前年度に比べると16億8,587万円（24.5%）の減になりました。

(予算額の推移は次のグラフを参照)。

### 重点施策

- ①「献上桃の郷」展開プロジェクト
- ②21世紀の追分推進プロジェクト
- ③歴史まちづくりプロジェクト
- ④町民のための庁舎整備プロジェクト

一般会計予算額の推移



### ●歳入の特徴

#### 【自主財源】

自主財源は20億3,508万円で前年度比9億2,143万円の減額を見込みました。その主な要因は、災害公営住宅建設や幼稚園整備などの事業の減により、財源に充てる基金からの繰入金の減少を見込んでいます。

▶次ページ円グラフをご覧ください。

#### 【依存財源】

歳入の約61%を占める依存財源は、31億6,215万円、前年度比7億6,444万円の減額を見込みました。主な要因は、除染事業交付金や幼稚園整備事業に係る福島県森林整備加速化・林業再生事業補助金などによる県支出金3億6,040万円の減少を見込んでいます。

▶次ページ円グラフをご覧ください。

### ●歳出の特徴

「献上桃の郷こおり創生プラン」に掲げた「重点プロジェクト」及び「基本構想方針」ごとの主な事業内容については、7ページ以降をご覧ください。

#### 【目的別歳出】

歳出（通常分）を目的別にみた内訳は、民生費、教育費、総務費、衛生費の順に多くなっており、「原発事故対策費（仮置場設置整備・解体等）」や「橋梁維持管理費」といった事業へ多くの予算を配分しています。

▶次ページ円グラフをご覧ください。

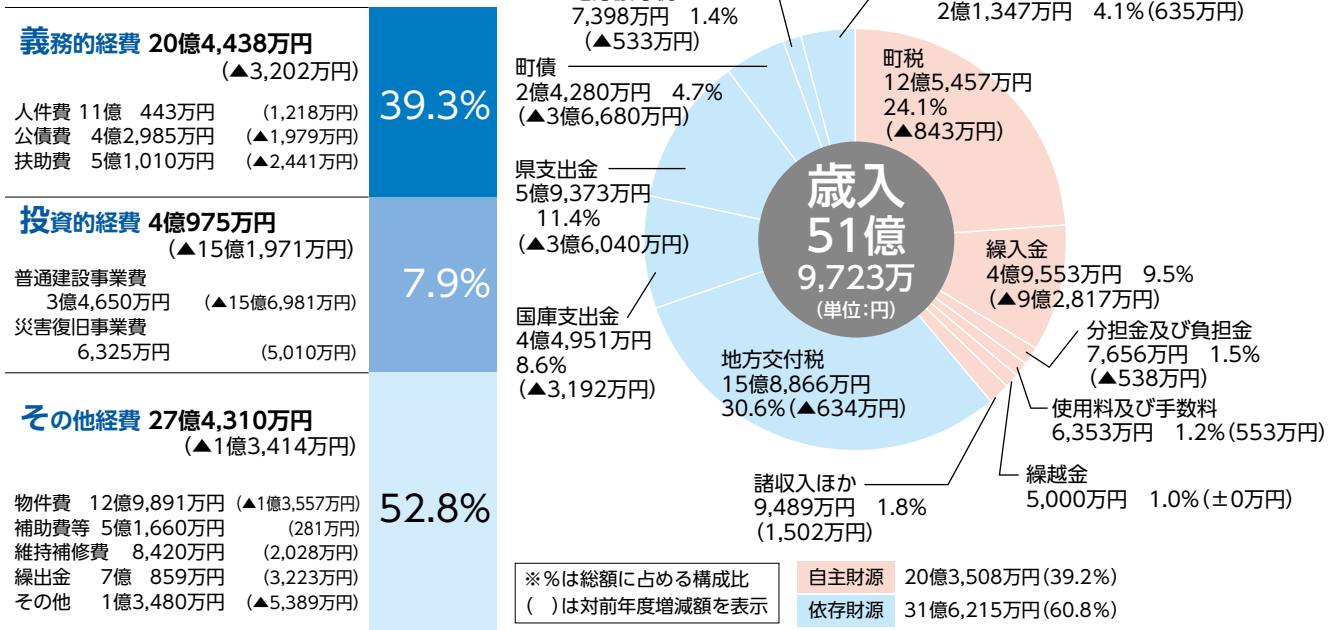
#### 【性質別歳出】

性質別にみた歳出の内訳は、前年度からの増減額の大きなものとして、普通建設事業費が、災害公営住宅整備や幼稚園整備の事業減少により減額になっています。また、物件費は、原発事故対策費（除染事業委託費）等の減により減額になっています。

▶次ページ棒グラフをご覧ください。



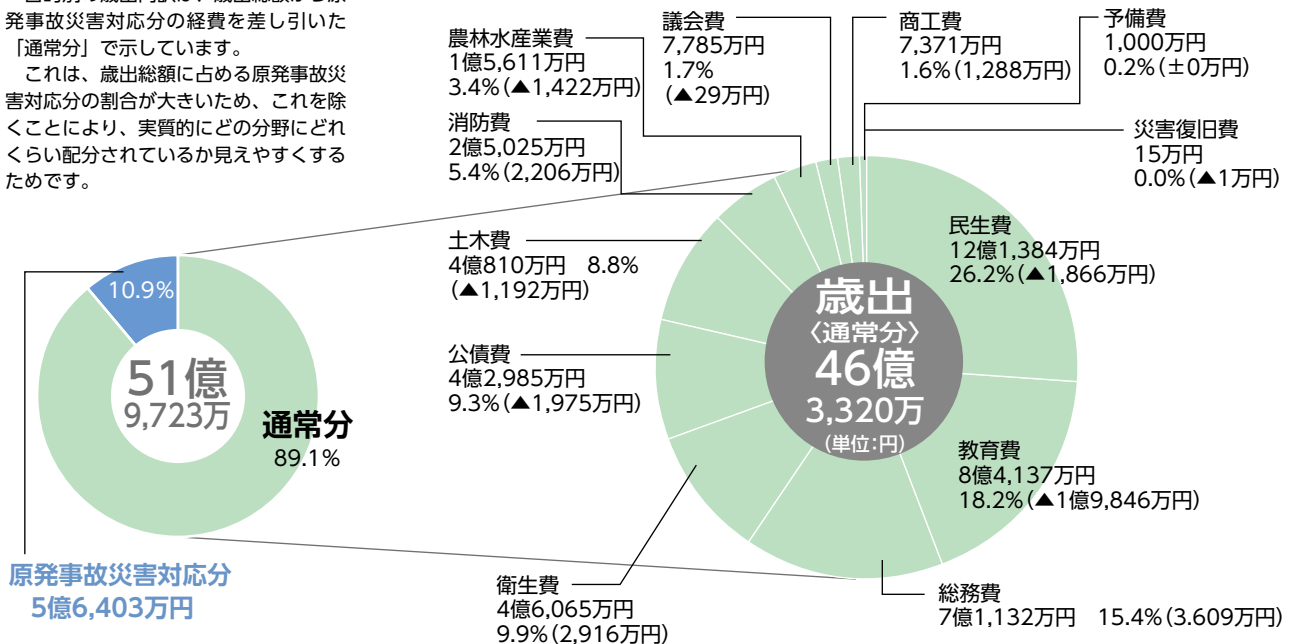
## ■性質別歳出内訳



## ■目的別歳出内訳

目的別の歳出内訳は、歳出総額から原発事故災害対応分の経費を差し引いた「通常分」で示しています。

これは、歳出総額に占める原発事故災害対応分の割合が大きいため、これを除くことにより、実質的にどの分野にどれくらい配分されているか見えやすくするためです。



## 【主な用語説明】

### 【一般会計】

福祉や教育・土木といった一般的な事業に使われ、町事業の基本となる 会計

### 【自主財源】

町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金

### 【依存財源】

地方交付税など、国や県の意思によって額が決められ割り当てられるお金

### 【一般財源】

町税や地方交付税等、使い道が特定されないお金

### 【特定財源】

国庫・県支出金、繰入金、町債および使用料等、使い道が特定されるお金

### 【町税】

町民の皆さんや法人が町に納める税金

### 【繰入金】

各種基金（貯金）の取り崩しや他会計から繰り入れるお金

### 【地方交付税】

自治体の財政力に応じて国から交付されるお金

### 【国庫・県支出金】

特定の目的のために国や県から交付されるお金

### 【町債】

国や銀行などから借りるお金

### 【義務的経費】

歳出のうち、その支出が義務づけられ、簡単に削減できない経費

### 【投資的経費】

社会的資本の整備を進めるための経費

### 【扶助費】

児童や老人、生活困窮者の援助に関する経費

### 【公債費】

借入金（町債）の返済に使うお金

### 【物件費】

委託料や消耗品費、光熱水費、臨時職員の賃金、旅費などに関する経費

### 【繰出金】

他会計や各種基金へ繰り出すための経費

### 【補助費等】

さまざまな団体への補助金・負担金に関する経費

## ■通常分における町民1人あたりの歳出予算額

( ) は対前年度増減額

<b>民生費</b> 高齢者・障がい者・児童などの福祉や保育所などに使うお金 <b>10万258円 (911円)</b>	<b>教育費</b> 幼稚園、小学校、中学校などの教育・文化・スポーツ振興などに使うお金 <b>7万51円(▲1万3,766円)</b>	<b>総務費</b> 町政全般の管理経費などに使うお金 <b>6万1,245円 (6,817円)</b>	<b>消防費</b> 消防・水防・災害対策に使うお金 <b>4万3,806円 (9,950円)</b>
<b>土木費</b> 道路や公園の整備・維持管理などに使うお金 <b>4万3,093円 (8,312円)</b>	<b>衛生費</b> 各種検診や予防接種、ごみ処理などに使うお金 <b>4万270円 (4,026円)</b>	<b>公債費</b> 借入金(町債)の返済に使うお金 <b>3万5,399円 (1万7,050円)</b>	<b>農林水産業費</b> 農林水産業の振興や農道・林道などの整備に使うお金 <b>2万305円 (6,575円)</b>
<b>議会費</b> 議会運営に使うお金 <b>6,411円 (113円)</b>	<b>商工費</b> 商工業や観光振興などに使うお金 <b>6,328円 (1,425円)</b>	<b>予備費</b> 使いみちを限定せず予算計上し、軽微な補正に対処するためのお金 <b>824円 (18円)</b>	<b>災害復旧費</b> 災害によって生じた被害の復旧に使うお金 <b>12円 (▲1円)</b>
<b>歳出総額 42万8,002円 (4万1,430円) ※原発事故対応分4万6,448円 (▲12万4,083円)</b>			

※平成29年4月1日現在の住民基本台帳人口12,143人を基に算出しています。

## ■平成29年度 特別会計当初予算額

保険料など、町税以外の特定の収入がある会計で、収入の使い道が決まっている会計

会計名	当初予算額	前年度比
国民健康保険	15億8,445万円	▲2.7%
後期高齢者医療	1億5,330万円	3.9%
介護保険	15億3,803万円	5.7%
公共下水道事業	3億6,522万円	0.6%

## ■平成29年度 公営企業会計当初予算額

一般の会社と同様に「独立採算」を原則とし、水道料金などその事業における収入で経費をまかなう会計

会計名	当初予算額	前年度比
水道事業会計	収益的収入	3億6,495万円 ▲2.1%
	収益的支出	3億3,463万円 ▲4.5%
	資本的収入	450万円 ▲87.0%
	資本的支出	1億6,774万円 2.6%

# 平成28年度 下半期の財政状況

## ●平成28年度の最終予算

平成28年度の各会計の最終予算額については【表1】のとおりです。そのうち「一般会計」では、当初予算額と比較して、5億904万円の増額になりました。これは、役場庁舎建設基金積立金、公共施設維持管理基金積立金、農業振興活動拠点施設整備事業費等によるものです。なお、総額2億2,927万円の事業が年度内に完了が出来なかったことから、平成29年度への繰越事業となりました。その主な内容については【表2】のとおりです。

【表1】平成28年度会計最終予算

会計名		当初予算額	最終予算額	増減額	
一般会計		68億8,310万円	73億9,214万円	5億904万円	
特別会計	国民健康保険	16億2,831万円	16億183万円	▲2,648万円	
	後期高齢者医療	1億4,755万円	1億5,194万円	439万円	
	介護保険	14億5,450万円	14億5,963万円	513万円	
	公共下水道事業	3億6,292万円	3億5,402万円	▲890万円	
公営企業会計	水道事業会計	収益的収入	3億7,286万円	3億8,664万円	1,378万円
		収益的支出	3億5,039万円	3億4,669万円	▲370万円
		資本的収入	3,467万円	7,159万円	3,692万円
		資本的支出	1億6,353万円	1億5,223万円	▲1,130万円

【表2】平成29年度への繰越事業

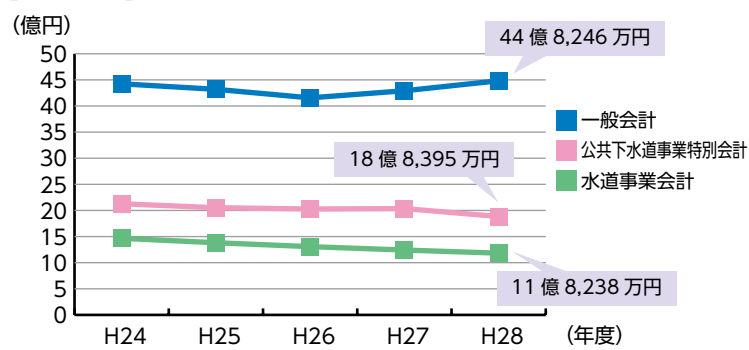
事業名		予算額
〈明許繰越〉		2億2,927万円
1	町内会育成振興事業補助金 ・御免町集会所建設事業	636万円
2	通知カード・個人番号カード発行業務 ・マイナンバー発行業務	95万円
3	臨時福祉給付金等支給事業 ・臨時福祉給付金支給事業	3,072万円
4	既存高齢者施設等の防犯対策強化事業 ・高齢者施設防犯対策強化	59万円
5	農業振興活動拠点施設整備事業 ・農業振興活動拠点施設整備	6,000万円
6	ふくしま森林再生事業森林整備等業務 ・森林の放射性物質対策	1,804万円
7	町観光資源PR写真・動画撮影業務委託事業 ・町観光資源PR写真・動画撮影業務委託	298万円
8	町道3100号(下郡上代)線道路改良事業 ・下郡上代線道路改良	856万円
9	桑折町橋梁定期点検事業 ・橋梁定期点検	1,865万円
10	災害公営住宅関連道路整備 ・災害公営住宅周辺道路整備	500万円
11	放射性物質除染対策事業 ・仮置場解体工事	1,742万円
12	桑折町ふれあい公園屋外ステージ設置事業 ・ふれあい公園屋外ステージ設置	6,000万円
合計		2億2,927万円

●各会計の借入金残高の推移

一般会計、公共下水道事業特別会計の借入金(町債)、水道事業会計の借入金(企業債)の残高の推移は【グラフ1】のとおりです。

なお、町債については、その元利償還金の一定割合が「地方交付税」に算入・交付されるものを活用し、後年度における財政負担の軽減を図っています。

【グラフ1】各会計の借入金残高の推移



●各種基金(貯金)の現在高

各会計の基金現在高(平成28年度末)については【表3】のとおりです。

【表3】各種基金(貯金)残高

会計区分	基金名	平成28年度末現在高	対前年度増減額
一般会計	財政調整基金	9億8,365万円	6,529万円
	減債基金	1億3,368万円	2万円
	土地開発基金	1億6,905万円	4万円
	その他(目的別基金の合計)	26億3,978万円	▲2億5,271万円
	合計	39億2,616万円	▲1億8,736万円
国民健康保険特別会計	国民健康保険給付費支払準備基金	5,208万円	▲2,998万円
介護保険特別会計	介護給付費準備基金	4,185万円	3,027万円

### ◎ 目指す姿

「献上桃の郷」商標登録を契機として、本町産桃のブランド化等を推進し、町のイメージアップと交流人口の拡大に努めるとともに、農家はもとより、町民所得の向上を目指します。

### ◎ 主な事業と予算

#### ① 農業振興活動拠点施設整備事業 【6,000万円】

※前年度からの繰越事業

※うち国県等の特定財源 【6,000万円】

担当：産業振興課（商工観光推進室）

⇒ 旧伊達崎幼稚園西園舎・敷地を、農産物直売、農家レストラン及び6次化産品加工・販売を行う施設にリニューアル。



農業振興拠点に生まれ変わる旧伊達崎幼稚園園舎

#### ② 町振興公社の組織強化支援事業 【170万円】

担当：産業振興課（商工観光推進室）

⇒ 地域振興事業、観光誘客促進事業に取り組む町振興公社に対し、必要な支援を実施。

#### ③ 観光誘客プロモーション事業 【1,690万円】

※うち国県等の特定財源 【1,193万円】

担当：産業振興課（商工観光推進室）

⇒ 首都圏・仙台圏、海外へのPR事業。モニターツアーやBBQフェス等の交流イベントを実施。



6次化産品の第一弾  
「献上桃ソルベ」完成

#### ④ シティプロモーションアドバイザー招へい事業 【142万円】

※うち国県等の特定財源 【71万円】

担当：政策推進課

⇒ 「献上桃の郷」としての知名度向上・イメージアップに向け経験豊富で有能な民間人材を活用。

#### ⑤ ロゴマークデザイン制作事業 【150万円】

※うち国県等の特定財源 【75万円】

担当：政策推進課

⇒ 町内外の方々に愛され、親しまれる「献上桃の郷」にふさわしいシンボルロゴを作成。



シティプロモーションアドバイザー  
金子和夫氏による職員向け研修会



### ◎ 目指す姿

相馬福島道路を活かした効果的な土地利用を図り、移住・定住を視野に企業誘致と新たな雇用の創出に努め、さらに、広がりのある観光周遊ルートの形成による交流人口の拡大策を講じ、広域的な地域の拠点形成を目指します。



## ◎ 主な事業と予算

### ①(仮)国道4号IC周辺の土地利用検討業務【500万円】

担当：まちづくり推進課

※うち国県等の特定財源【300万円】

⇒相馬福島道路を活かした、民間活力による広域的な拠点形成に向けた検討を実施。



(仮) 国道4号IC付近 (イメージ図)



相馬福島道路「桑折高架橋」完成イメージ (成田字半五郎付近)

## 重点プロジェクト **3** 歴史まちづくり推進プロジェクト

### ◎ 目指す姿

先人から受け継いできた歴史的資源を次世代へ確実に継承していくため、本町の「良さ」「らしさ」を再認識し、歴史的建造物と人々の営みが一体となった良好な環境整備を進めるとともに、町のPRに努めながら“歴史探訪者”の増加を目指します。

### ◎ 主な事業と予算

#### ①史跡桑折西山城跡整備事業【3,771万円】

※うち国県等の特定財源【1,653万円】

担当：まちづくり推進課

⇒樹木伐採、本丸の土盛り等を実施 (整備計画2年目)。



坂町から見た現在の国指定史跡 桑折西山城跡

## 重点プロジェクト **4** 町民のための庁舎整備プロジェクト

### ◎ 目指す姿

災害対策や町民活動の拠点的功能を有し、利便性や快適性を考慮した庁舎づくりを進め、町民に寄り添い頼りにされる役場を目指します。

### ◎ 主な事業と予算

#### ①役場新庁舎建設事業【2,182万円】

担当：総務課 (新庁舎整備室)

⇒旧醸芳中跡地(やすらぎ園隣)への新庁舎建設に向け、町民意向をふまえた「基本計画」の策定、基本設計業務等を行う。



有識者や町民代表で構成する「新庁舎建設検討委員会」から町長へ意見書提出 (H29.3)



# 方針 1

## 魅力的で“活力”ある地域社会の創生

### ◆主な事業と予算

\*前述の重点プロジェクト掲載事業除く。

#### 1. 農業の振興

担当：産業振興課

##### 『主な内容』

- ①新規農業者経営活動支援・新規就農農業後継者支援事業 **【244万円】**  
⇒意欲ある担い手・農業後継者の育成・支援のため、町独自の支援金を交付。
- ②農業次世代人材投資事業 **【300万円】**  
※うち国県等の特定財源 **【300万円】**  
⇒青年等就農計画の認定を受け、標記事業の決定を受けた新規就農者に給付金を支給。



- ③恵みの農地再生事業 **【70万円】**  
※うち国県等の特定財源 **【70万円】**  
⇒遊休農地解消に向けた耕作条件整備への助成。
- ④環境にやさしいモモづくり推進事業 **【185万円】**  
※うち国県等の特定財源 **【185万円】**  
⇒複合性フェロモンを利用した低農薬モモ栽培に取り組む農家への助成。

- ⑤桃せん孔細菌病防除対策事業補助金 **【227万円】**

⇒防除のための薬剤費20%を栽培農家へ助成。

- ⑥県産農林水産物PR支援事業 **【331万円】**

※うち国県等の特定財源 **【300万円】**  
⇒風評払拭に向けたトップセールス、物産PRを実施。



首都圏での農産物PRキャンペーン(H28.12)

- ⑦宮農再開支援事業 **【2,643万円】**

※うち国県等の特定財源 **【2,643万円】**  
⇒放射性物質吸収抑制対策として果樹改植事業等を実施。

#### 2. 林業の振興

担当：産業振興課

##### 『主な内容』

- ①里山林整備モデル事業 **【50万円】**

⇒有害鳥獣侵入防止柵の機能保全のため、半田・睦合地区でモデル事業を実施。



地域ぐるみで鳥獣侵入防止柵を設置

- ②ふくしま森林再生事業 **【3,657万円】**

※うち国県等の特定財源 **【3,288万円】**  
⇒森林の有する多面的機能を維持しながら、放射性物質の低減化と森林整備を実施。



伐採による森林整備

#### 3. 農村環境の整備

担当：地域整備課

##### 『主な内容』

- ①多面的機能支払交付金事業 **【624万円】**

※うち国県等の特定財源 **【468万円】**  
⇒農村における水路等の維持管理作業を行う団体へ交付金を交付。



共同で水路等を維持管理

- ②ため池放射性物質対策事業 **【2,064万円】**

※うち国県等の特定財源 **【1,548万円】**  
⇒平沢沼の放射性物質を除去。

- ③西根堰ストックマネジメント事業 **【394万円】**

⇒西根堰の長寿命化事業（県営）に対する負担金。

## ◆目指す姿

地域経済の発展と、人を惹きつける魅力的で活力ある地域づくりのため、産業経済の振興や観光交流人口の拡大、定住化の促進、歴史的資源を活かしたまちづくり、都市的機能の整備に取り組みます。

### 4. 商工業の振興

担当：産業振興課（商工観光推進室）

#### 『主な内容』

#### ①商店街活性化推進事業 【60万円】

⇒商店街活性化、賑わい再生のため、商店会が取り組む活性化事業へ補助。

#### ②プレミアム付共通商品券発行事業 【112万円】

※うち国県等の特定財源【112万円】

⇒地元消費喚起、地域経済活性化を図るため、商店会が発行する商品券発行事業へ補助。

#### ③商工業活力再生イベント事業 【260万円】

⇒地元食材、地場産品等の販売促進のため、商工会青年部が取り組む「ふくしまバーガーサミット」事業へ補助。



毎年多くの来場者で賑わうバーガーサミット（ふれあい公園 H28.10）

### 5. 観光交流

担当：産業振興課（商工観光推進室）

#### 『主な内容』

#### ①こおり満福まつり事業 【941万円】

※うち国県等の特定財源【706万円】

⇒町のPR、交流人口の拡大を図るため、若者を対象とした特色あるイベントを開催。



こおり満福まつり！2016  
（ふれあい公園 H28.10）

#### ②在京桑折会事業 【300万円】

※うち国県等の特定財源【300万円】

⇒ふるさと応援、交流人口の拡大を図るため、首都圏在住の町出身者と交流事業を開催。



今年も在京桑折会を開催  
（東京都秋葉原 H28.11）

### 6. 移住・定住

担当：政策推進課

#### 『主な内容』

#### ①若者定住促進事業補助金・

若者定住者向けJR通勤補助金

【660万円】

⇒若者（45歳未満）世代の移住・定住を促進するため、町内にマイホーム（中古住宅含む。）を取得、又は住宅リフォームを行った人に、最大60万円を補助。加えて、JR通勤費を半額補助（月額5,000円を上限）。





# 方針 2

## 健やかで希望に満ちた“暮らし”の確立

### ◆目指す姿

安心して子育てや親の介護ができるよう、町民みんなが希望や安心を持って健やかに暮らせる、生涯を通じた健康づくりや地域福祉、高齢者福祉の充実に取り組みます。

### ◆主な事業と予算

#### 1. 子育て支援の充実

担当：保健福祉課  
子育て支援課  
生涯学習課

##### 『主な内容』

##### ① 子育て世代包括支援センター事業 【586万円】

※うち国県等の特定財源【381万円】  
⇒妊娠期から切れ目のない子育て支援を行う体制を整備。助産師により妊産婦等の状況を継続的に把握し、支援プランを策定。

##### ② 妊婦一般健康診査事業 (新生児聴覚検査含む。)

【1,039万円】

⇒妊娠中における疾病等の早期発見に繋げるよう健診を実施。

##### ③ 不妊治療費助成事業 【120万円】

⇒特定不妊治療を行う夫婦の経済的負担軽減のため、治療費の一部を助成(県補助に上乘せ)

##### ④ 子ども医療費助成事業 【5,744万円】

※うち国県等の特定財源【3,369万円】  
⇒保護者の経済的負担軽減のため、18歳までの医療費自己負担分を全額助成。

##### ⑤ 児童手当支給事業 【1億7,250万円】

※うち国県等の特定財源【1億4,620万円】

##### ⑥ 放課後児童保育施設の環境整備事業 【236万円】

⇒児童館等、保育施設のトイレ改修やAED配置を行う。

##### ⑦ 子育て情報誌概要版の発行 【36万円】

⇒子育て世代の利便性を図るため、町の子育て情報をまとめた概要版を発行。

##### ⑧ 「イコーゼ!」屋内遊び場設置事業

【803万円】

※うち国県等の特定財源【530万円】  
⇒屋内遊び場に安全監視員を配置。絵本や遊具を使ったイベントを適宜開催。



「イコーゼ!」屋内遊び場を活用した運動イベント

#### 2. 健康と医療

担当：保健福祉課

##### 『主な内容』

##### ① 各種がん検診事業 【2,628万円】

※うち国県等の特定財源【152万円】  
⇒がんの早期発見に向けて各種がん検診を実施。今年度から胃カメラ検査を導入。

#### 3. 地域福祉の充実

担当：保健福祉課

##### 『主な内容』

##### ① 社会福祉協議会事業補助金

【1,428万円】

⇒社会福祉協議会が取組む各種福祉事業へ補助。

##### ② 臨時福祉給付金等支給事業

※前年度からの繰越事業

【3,072万円】

※うち国県等の特定財源【3,072万円】

⇒消費税率10%引上げが延期されたことに伴う経済対策の一環として、平成29年4月から2年半分を一括して支給。

##### ③ 「障がい者基本計画」・ 「障がい者福祉計画」策定業務

【370万円】

⇒法に基づく、障がい者の自立支援や社会参加促進のための計画を策定。

#### 4. 高齢者福祉の充実

担当：保健福祉課

##### 『主な内容』

##### ① 「桑折いきいきサポートセンター」設置事業 【332万円】

※うち国県等の特定財源【332万円】

⇒浪江町サポートセンター(福島蚕糸跡地)を改修し、健康増進・交流の場に有効活用。



高齢者の健康づくり・交流拠点として6.1開所予定。

##### ② 高齢者等福祉タクシー利用券給付事業 【293万円】

⇒高齢者の免許返納者に配慮する等、給付事業の対象者を拡充

# 方針

# 3

## “安全安心”で住みやすい“生活環境”の構築

### ◆目指す姿

地震災害などのあらゆるリスクから町民の生命と財産を守るため、消防防災や減災対策、防犯・交通安全対策の強化に取り組みます。さらに、環境衛生の向上や地球環境の保護、道路交通網の整備と管理、居住環境の整備等に取り組みます。

### ◆主な事業と予算

#### 1. 消防・防災、生活安全

担当：総務課・地域整備課

##### 『主な内容』

##### ①消防団活動費 【3,682万円】

※うち国県等の特定財源【85万円】

⇒救助用長靴の全団員への配備等、消防団活動推進のための環境を整備。



消防団の新人団員訓練（H28.4）

##### ②防災対策事業 【667万円】

※うち国県等の特定財源【175万円】

⇒地域防災訓練の開催、備蓄倉庫の備蓄品更新、県総合情報通信ネットワーク更新事業等を実施。



平成28年度 防災訓練

##### ③水路新設改良事業 【500万円】

⇒川原水路（睦合地区）改良事業を実施。

##### ④防犯灯LED器具交換事業（200灯）

【660万円】

※うち国県等の特定財源【660万円】

⇒町内約1,500灯中、800灯をLED化済。今年度は200灯を交換し、電気料金や環境負荷の軽減を図るとともに、夜間の犯罪防止・歩行者の安全確保に努める。

#### 2. 環境衛生・環境共生

担当：環境対策課

##### 『主な内容』

##### ①除去土壌等搬出事業【1億5,000万円】

※うち国県等の特定財源【1億5,000万円】

⇒教育施設（聖光学院高校グラウンド）からの除去土壌等搬出、可燃廃棄物の仮設焼却施設への運搬等を実施。



除去土壌等を仮置場から搬出

##### ②仮置場解体事業 【4,800万円】

※うち国県等の特定財源【4,800万円】

⇒環境省による除去土壌等搬出後の仮置場復元事業を実施。

##### ③住宅用再生可能エネルギー設備

設置補助事業 【340万円】

⇒住宅用の太陽光発電設備や蓄電池設備のほか、今年度よりペレット・薪ストーブ設備も補助対象に追加。



住宅用太陽光発電システムのイメージ

##### ④公共施設へのハイブリット街路灯設置事業 【648万円】

※うち国県等の特定財源【518万円】

⇒災害時の避難施設に、再生エネルギーを利用した照明設備（太陽光・風力、蓄電池付き）を設置。

##### ⑤小水力発電事業可能性調査事業

【150万円】

※うち国県等の特定財源【75万円】

⇒西根堰を活用した小水力発電事業を検討するため、流量等の調査や発電量試算等を実施。

#### 3. 総合交通網

担当：まちづくり推進課・地域整備課

##### 『主な内容』

##### ①町道改良事業 【3,949万円】

⇒桐ヶ窪線・吉沼線・横町線・中郷線等の道路改良事業を実施。

##### ②橋梁の長寿命化・

耐震対策推進事業 【4,500万円】

※うち国県等の特定財源【2,700万円】

# 方針 3

## “安全安心”で住みやすい“生活環境”の構築

⇒町道の橋梁60か所の点検、高速道路に架かる橋梁修繕を実施。



長寿命化に向けた橋梁点検

### ③道路等側溝堆積物撤去・処理業務 【3,300万円】

※うち国県等の特定財源【1,650万円】

⇒福島再生加速化交付金を活用し、町内における未除染道路等の側溝堆積物撤去・処理作業を実施。



側溝堆積物撤去・処理作業の様子

### ④町道維持管理事業 【3,310万円】

※うち国県等の特定財源【110万円】

⇒町道の維持管理工事（杉の前線舗装、昭和大橋照明LED化等）を実施。

### ⑤スーパーやなみ事業 【1,100万円】

⇒地域住民の協力により道水路整備を施工。



スーパーやなみ事業の様子

## 4. 居住環境

担当：まちづくり推進課・上下水道課

### 『主な内容』

#### ①災害公営住宅関連広場整備事業

【500万円】

※うち国県等の特定財源【400万円】

⇒福島蚕糸既存庭園を活用し、災害公営住宅入居者と周辺住民が交流できる憩いの広場整備に向けた実施設計を委託。



桑折駅前団地（災害公営住宅）全て完成

#### ②住宅耐震促進事業 【600万円】

※うち国県等の特定財源【600万円】

⇒引き続き、「町耐震改修促進計画」に基づき、住宅の耐震診断を実施。また、診断結果で基準を満たさなさい住宅の改修費用に対する助成（費用の1/2かつ100万円までとし、今年度は5件を予定）を実施。



#### ③「空家等対策計画」推進事業

【254万円】

※うち国県等の特定財源【254万円】

⇒「町空家等対策計画」に基づき、計画の概要版作成、空家データベースの作成等を実施。



#### ④合併処理浄化槽設置整備事業

【798万円】

※うち国県等の特定財源【403万円】

⇒下水道整備区域以外において、合併処理浄化槽設置への補助を交付。





# 方針

# 4

## 志高い人材を育む“学び”の醸成

### ◆目指す姿

町民一人ひとりが生きがい・自己実現を求め、主体的に学びながら、まちづくりを担う人材を育成するため、幼稚園から中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進や、各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進等に取り組みます。

### ◆主な事業と予算

#### 1. 乳幼児保育と教育

担当：子育て支援課

##### 『主な内容』

##### ①保育所管理運営事業 【9,717万円】

※うち国県等の特定財源【3,080万円】

⇒嘱託保育士・看護師の配置や、経年劣化による施設・設備の改修を実施。

##### ②幼稚園管理運営事業 【5,905万円】

※うち国県等の特定財源【2,078万円】

⇒嘱託教諭・養護教諭・事務職員の配置や、施設の管理業務を実施。

##### ③幼稚園整備事業 【4,704万円】

※うち国県等の特定財源【4,678万円】

⇒園舎の改修工事を実施。



新生「醸芳幼稚園」スタート

##### ④入園祝い品制服支給事業 【36万円】

※うち国県等の特定財源【36万円】

⇒子どもたちの入園祝いと、子育て期の経済的支援のため、新入園児へ制服を支給。

#### 2. 小中学校教育

担当：学校教育課

##### 『主な内容』

##### ①「桑折学習塾」開催事業 【74万円】

※うち国県等の特定財源【74万円】

⇒大学や地域ボランティア等と連携し、土曜日に希望する子どもたち（小・中学生）への学習環境を提供。



桑折学習塾の様子

##### ②「イコーゼ！」を活用した水泳授業等の実施

【540万円】

※うち国県等の特定財源【25万円】

⇒学校でのプール授業等を、インストラクターの協力を得ながら「イコーゼ！」にて実施。

##### ③学校給食運営費 【1億1,344万円】

※うち国県等の特定財源【4,853万円】

⇒引き続き食材のモニタリングによる安全・安心な給食の提供と、学校給食を活用した食育を推進。

##### ④指導主事・特別支援教育支援員の増員配置

【2,592万円】

⇒学力向上対策事業、特別支援教育の充実を図るため、今年度より各1名増員配置。

##### ⑤平和学習派遣事業 【100万円】

※うち国県等の特定財源【59万円】

⇒平和の大切さを学ぶため、各小学6年生の代表を長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に派遣。



平成28年度 平和学習派遣事業（長崎市）

##### ⑥学校トイレの洋式化事業【284万円】

⇒5年後の洋式化率50%を目標に整備。

##### ⑦児童生徒就学援助事業【1,069万円】

※うち国県等の特定財源【137万円】

⇒経済的に援助が必要な世帯等へ、学用品や給食費等を支援。

##### ⑧入学祝い品制服支給事業

【479万円】

※うち国県等の特定財源【479万円】

⇒子どもたちの入学祝いと、子育て期の経済的支援のため、新入学児童生徒へ制服を支給。



入学祝いに制服贈呈

# 方針 4

## 志高い人材を育む“学び”の醸成

### 3. 生涯学習・スポーツ

担当：生涯学習課

#### 『主な内容』

#### ①公民館事業 【556万円】

※うち国県等の特定財源【76万円】

⇒乳幼児期から高齢期までの各ライフステージ（生涯各期）に応じて、充実した公民館事業を展開。また、今年度より中央公民館長を専任配置。

#### ②図書活動 【178万円】

⇒各世代が本に親しむ機会を創出し、教養の向上を促進。



遊学館よも〜よ（お気軽にご利用ください。）

#### ③姉妹都市国際交流事業 【578万円】

⇒国際感覚や文化を体験する機会を創出するため、中学生を対象に米国エリザベスタウン市へ派遣。



姉妹都市国際交流事業（H27）

#### ④文化講演会事業 【169万円】

※うち国県等の特定財源【126万円】

⇒町民の豊かな感性を創出するため、著名人や地域とゆかりのある方を招き講演会を実施。

#### ⑤町文化団体連絡協議会活動支援 【60万円】

⇒自主活動の充実・生きがいづくりの促進を図るとともに、町総合文化祭実施による活動成果披露の場を創出。

#### ⑥「イコーゼ！」での水泳教室事業 【666万円】

※うち国県等の特定財源【168万円】

⇒各世代の体力向上、健康増進に向けて、インストラクターの指導のもと各種水泳教室を開催。



「イコーゼ！」での水泳教室

#### ⑦自主的スポーツ活動支援

【560万円】

⇒町民の体力向上や健康増進を図るため、町内スポーツ・レクリエーション団体の活動を促進。（町体育協会、「ふくしま駅伝」実行委員会、「マルベリーこおり」）

#### ⑧体育施設利用者の駐車場等整備事業

【3,065万円】

※うち国県等の特定財源【3,065万円】

⇒利用者の利便性向上と安全性確保を図るため、旧町民体育館・プール跡地に駐車場、テニスコート西側・コミュニティ広場に外灯を整備。

#### ⑨ふれあい公園屋外ステージ設置事業

【6,000万円】

※前年度からの繰越事業

※うち国県等の特定財源【6,000万円】

⇒ふれあい公園の効果的な活用促進のため、公園内に常設の屋根付きステージを整備。



ステージの活用イメージ（こおり満福まつり）

## 主な事業と予算

### 1 住民自治の活性化 担当：政策推進課

#### ①住民自治協議会運営交付金交付事業【200万円】

⇒ 各地区の住民自治協議会による自主的活動を支援するため交付金を交付。



住民自治協議会主催の防災訓練

### 2 行政機能の強化 担当：総務課・税務住民課・政策推進課

#### ①人事評価制度構築業務【205万円】

⇒ 人事評価制度構築に向けた支援業務を委託。

#### ②職員の健康管理業務【492万円】

※うち国県等の特定財源【168万円】

⇒ 職員の心身の故障を防ぐため、定期健診やメンタルヘルス対策を実施。

#### ③マイナンバーカード交付促進事業【253万円】

※うち国県等の特定財源【253万円】

⇒ マイナンバーカードの利便性を周知し、カード交付を促進。

### 3 健全な財政運営 担当：総務課・税務住民課

#### ①ふるさと納税PR・返礼品送付事業【909万円】

⇒ PR用パンフレット、ネット広告、申込みWebサイト開設を行う。また、返礼品の桃を送付する際の箱を独自に作成。

#### ②統一基準に基づく財務書類作成支援業務【356万円】

⇒ 新地方公会計制度導入による財務書類等作成に向けた支援業務を委託。

#### ③町税等のコンビニ収納業務【314万円】

⇒ 納税者等の利便性向上を図るため、今年度より、身近なコンビニでいつでも納付できる制度を導入。



早朝・夜間でも! ご自宅の近くで!

町税等がコンビニと郵便局で納付できるようになります

平成29年4月からはじまります!

※東北6県(福島、青森、岩手、宮城、秋田、山形)の郵便局窓口

### 4 広報・広聴の充実 担当：政策推進課

#### ①広報こおり発行業務【401万円】

※うち国県等の特定財源【189万円】

⇒ 効果的な情報発信に向けて、紙面をリニューアルし発行。

#### ②町ホームページ運営業務【186万円】

⇒ 効果的でタイムリーな情報発信に向けて、外国語翻訳機能を追加し運営。



## —桑折町町民憲章—

- 一、 歴史と伝統を尊び、かおり高い  
文化の町をつくりましょう
- 一、 恵まれた自然を愛し、環境を整え  
緑の町をつくりましょう
- 一、 心身をきたえ、健康で  
明るい町をつくりましょう
- 一、 勤労にはげみ、活力ある  
豊かな町をつくりましょう
- 一、 きまりを守り、助け合う心を育て  
住みよい町をつくりましょう

昭和 60 年 9 月制定

## —町の花・木・鳥—



### 町の花<モモ>

桑折の春を花霞で美しく彩ります。実はくだもの町を代表する逸品。



### 町の鳥<カッコウ>

美しさの中にどこか愛嬌のある鳴き声は、夏の訪れを告げる風物詩です。



### 町の木<アカマツ・カヤ>

桑折の大地が育んだ緑。どっしりと根を下ろし、町の四季を見守っています。

---

## 発行 福島県桑折町

〒 969-1692

福島県伊達郡桑折町字東大隅 18 番地

TEL 024-582-2111 (代表)

FAX 024-582-2479

URL <http://www.town.koori.fukushima.jp>

E-mail [seisaku@town.koori.fukushima.jp](mailto:seisaku@town.koori.fukushima.jp)

編集 桑折町役場 政策推進課政策推進係、総務課財政係